

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2021年10月27日

証券コード
6210

インデックス

1. 2022年3月期 第2四半期業績概要	2
2. 2022年3月期 通期業績予想	8
3. トピックス	15
4. <Appendix>	19

2022年3月期 第2四半期業績概要

2022年3月期 第2四半期経営成績

中国のIT電子機器、医療機器関連が堅調に推移

また、アジア・欧米などの海外を中心に自動車や生活用品関連の需要は回復

項目 (単位：百万円)	2020/2Q 実績	2021/2Q 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2021/2Q 計画	計画比 増減
受注高	10,696	17,941	+7,245	+67.7%	15,000	+2,941
売上高	9,785	15,876	+6,091	+62.2%	15,000	+876
営業利益	△531	718	+1,249	-	600	+118
営業利益率	△5.4%	4.5%	+9.9P	-	4.0%	+0.5P
経常利益	△484	801	+1,285	-	625	+176
親会社株主に 帰属する四半期純 利益	△439	449	+888	-	425	+24
1株当たり四半 期純利益	△21.34円	21.86円	+43.20円	-	20.65円	+1.21円
<参考> 為替レ- (USD)	106円	112円	+6円	-	110円	+2円

売上高・営業利益の増減要因分析

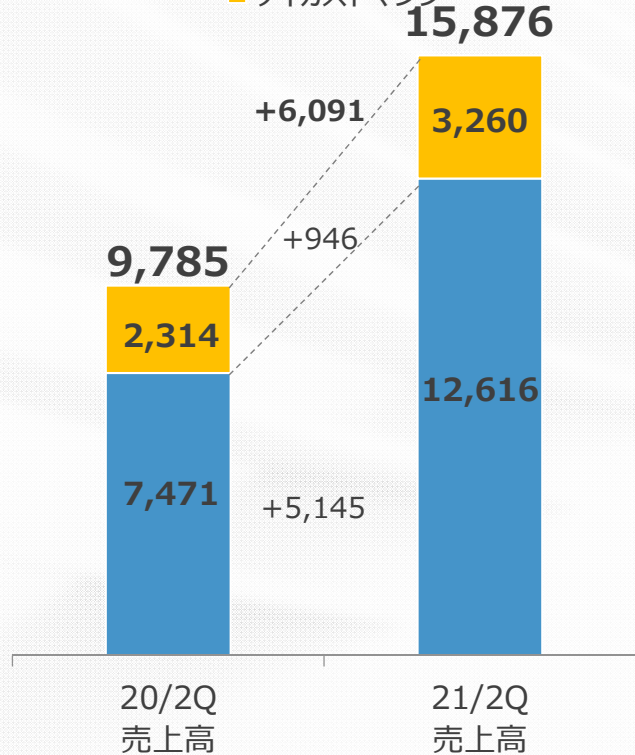
売上高は、射出成形機、ダイカストマシン共に増加
 営業利益は、売上高と生産操業度が回復し、7億円となる

売上高

(単位：百万円)

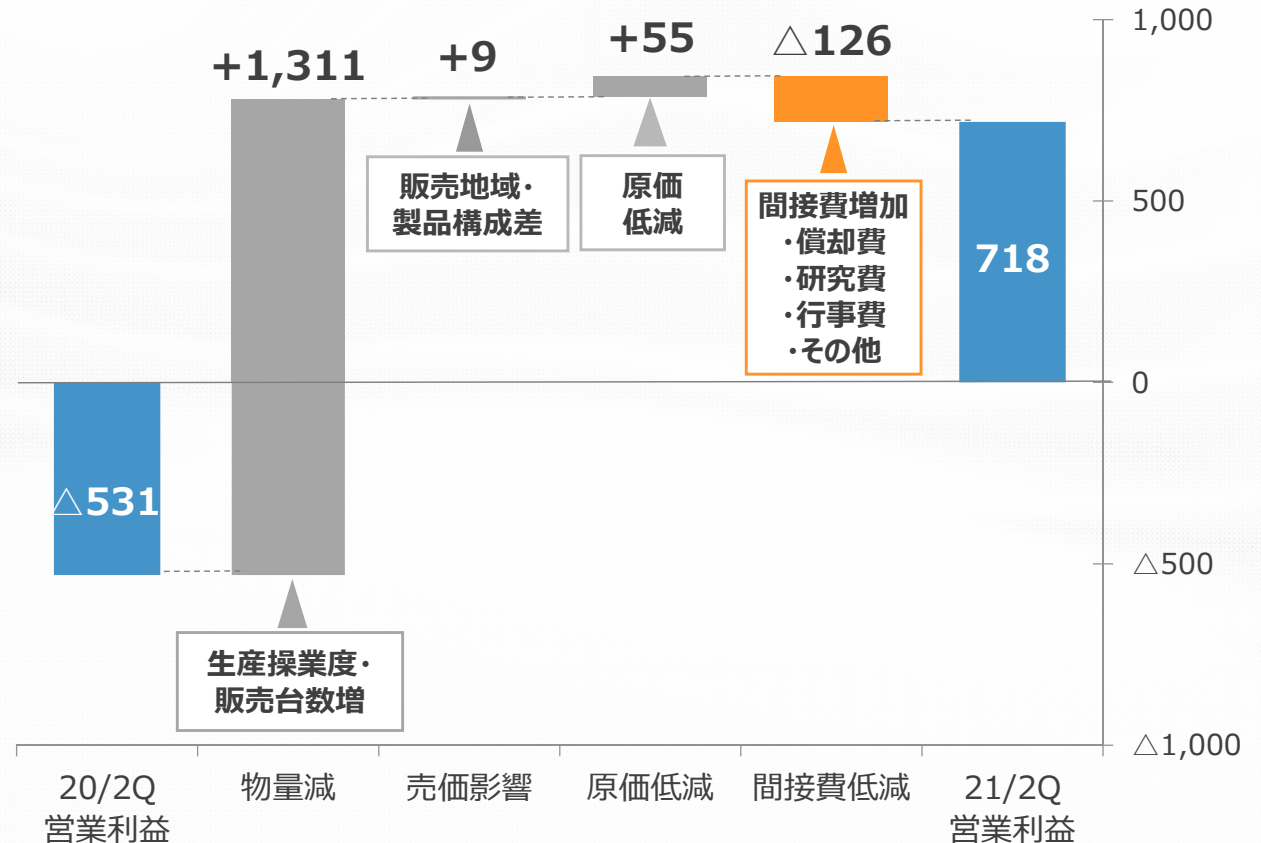
■ 射出成形機

■ ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は179億円（前期比+72億円）、受注残高は122億円（前期比+57億円）

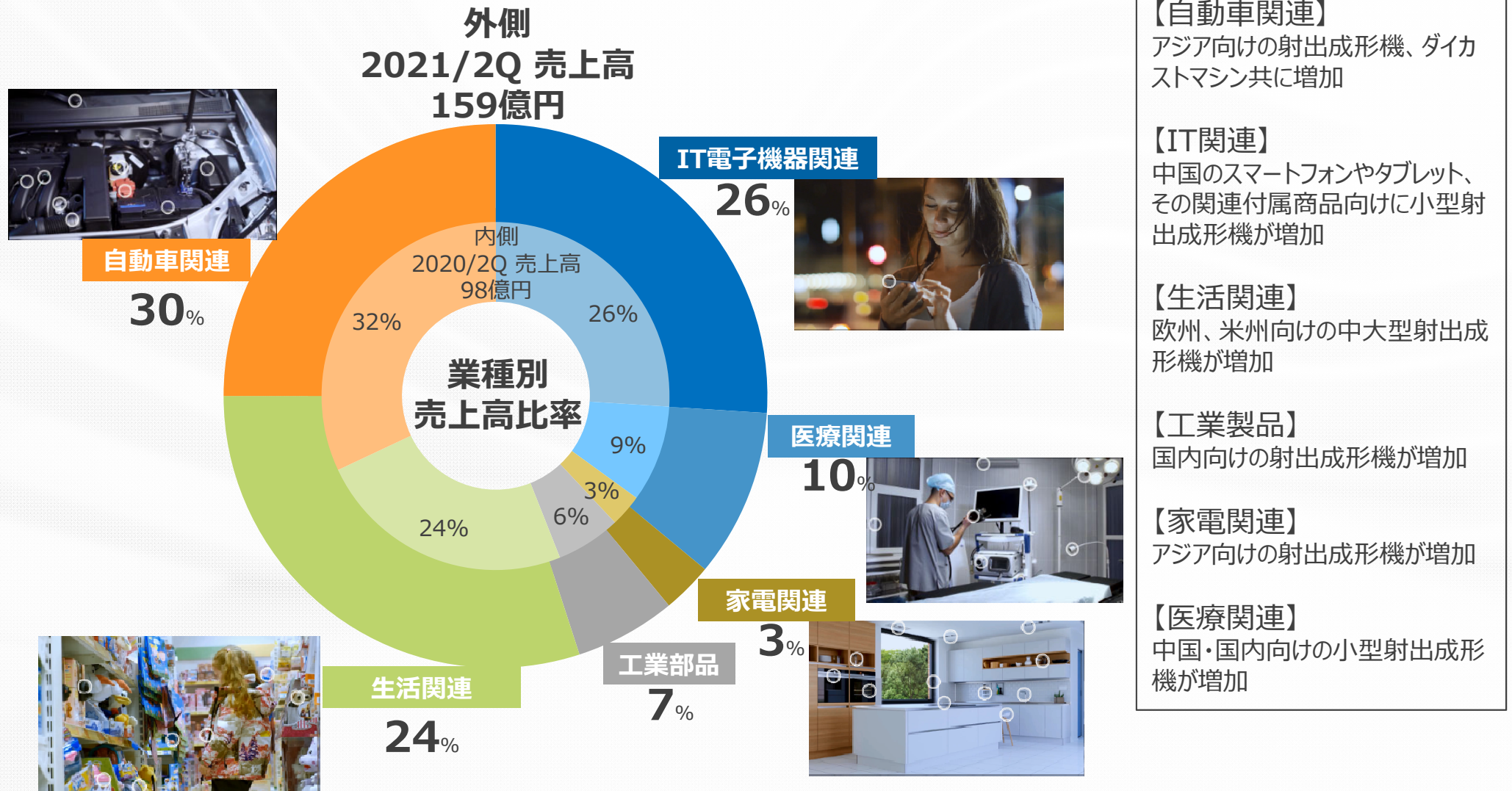
射出成形機 (単位:百万円)	2020/2Q 実績	構成比	2021/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	8,595	80%	12,977	72%	+4,382	+51.0%
(内、海外)	(6,212)	(72%)	(9,560)	(74%)	(+3,348)	+53.9%
売上高	7,471	76%	12,616	79%	+5,145	+68.9%
(内、海外)	(5,281)	(71%)	(9,911)	(79%)	(+4,630)	+87.7%
受注残高	5,212	80%	8,951	73%	+3,739	+71.7%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2020/2Q 実績	構成比	2021/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	2,101	20%	4,964	28%	+2,863	+136.3%
(内、海外)	(1,392)	(66%)	(3,590)	(72%)	(+2,198)	+157.9%
売上高	2,314	24%	3,260	21%	+946	+40.9%
(内、海外)	(1,511)	(65%)	(2,336)	(72%)	(+825)	+54.6%
受注残高	1,267	20%	3,302	27%	+2,035	+160.6%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

業種全体の需要は回復



地域別売上高の動向

中国は堅調に推移する中、国内、アジア、米州、欧州他の売上は回復

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2022年3月期 通期業績予想

経営理念・経営方針と今後3年間の基本方針

経営理念

新たな価値創造を通じて社会に貢献し、
一人ひとりが輝けるより豊かな未来を実現する

経営方針

製品 - 顧客満足を追求する独自技術で安心・安全・価値ある製品をお届けする
顧客 - 顧客からベストパートナーとして選ばれる企業を目指す
社員 - 全社員が自信と誇りを持って働ける活力ある職場づくりに努める
社会 - 希望と未来が描ける持続可能な明るい社会の実現に貢献する

基本方針

Customers' Value Up

顧客が抱えるモノづくり領域の課題を解決し、顧客の付加価値向上に貢献する

QCDSの改善

周辺領域への
取り組み

持続的成長に向けた 新たな取り組み

自社・顧客・社会が持続的に成長できる仕組みと体制を整備する

AI技術
新素材対応

SDGs
ESG経営

経営基盤の刷新と強化

経営管理基盤と人材育成の仕組みを再構築しコーポレート・ガバナンス体制のさらなる強化を進める

経営管理
体制の強化

人材育成制度
の構築

2022年3月期 通期の業績予想

2021年度下半期の見通しは、新型コロナウイルスや半導体不足の影響で
部品調達が不安定ではあるが、業界の需要は回復すると予想

項目 (単位：百万円)	2020年度 実績	2021年度 予想	前期比 増減	前期比 増減率
受注高	29,491	31,250	+1,759	+6.0%
売上高	24,870	30,000	+5,130	+20.6%
営業利益	△211	1,200	+1,411	—
営業利益率	△0.8%	4.0%	+4.8P	—
経常利益	△101	1,250	+1,351	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△232	850	+1,082	—
1株当たり 当期純利益	△11.28円	41.36円	+52.64円	—
<参考> 為替レート(USD)	111円	110円	△1円	△0.9%

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は312億円（前期比+17億円）、売上高は300億円（前期比+51億円）
受注残高は114億円（前期比+12億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2020年度 実績	構成比	2021年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	24,108	82%	22,650	72%	△1,458	△6.0%
(内、海外)	(18,418)	(76%)	(16,650)	(74%)	△1,768	△9.6%
売上高	19,606	79%	22,900	76%	+3,294	+16.8%
(内、海外)	(14,448)	(74%)	(17,500)	(76%)	+3,052	+21.1%
受注残高	8,591	84%	8,341	73%	△250	△2.9%

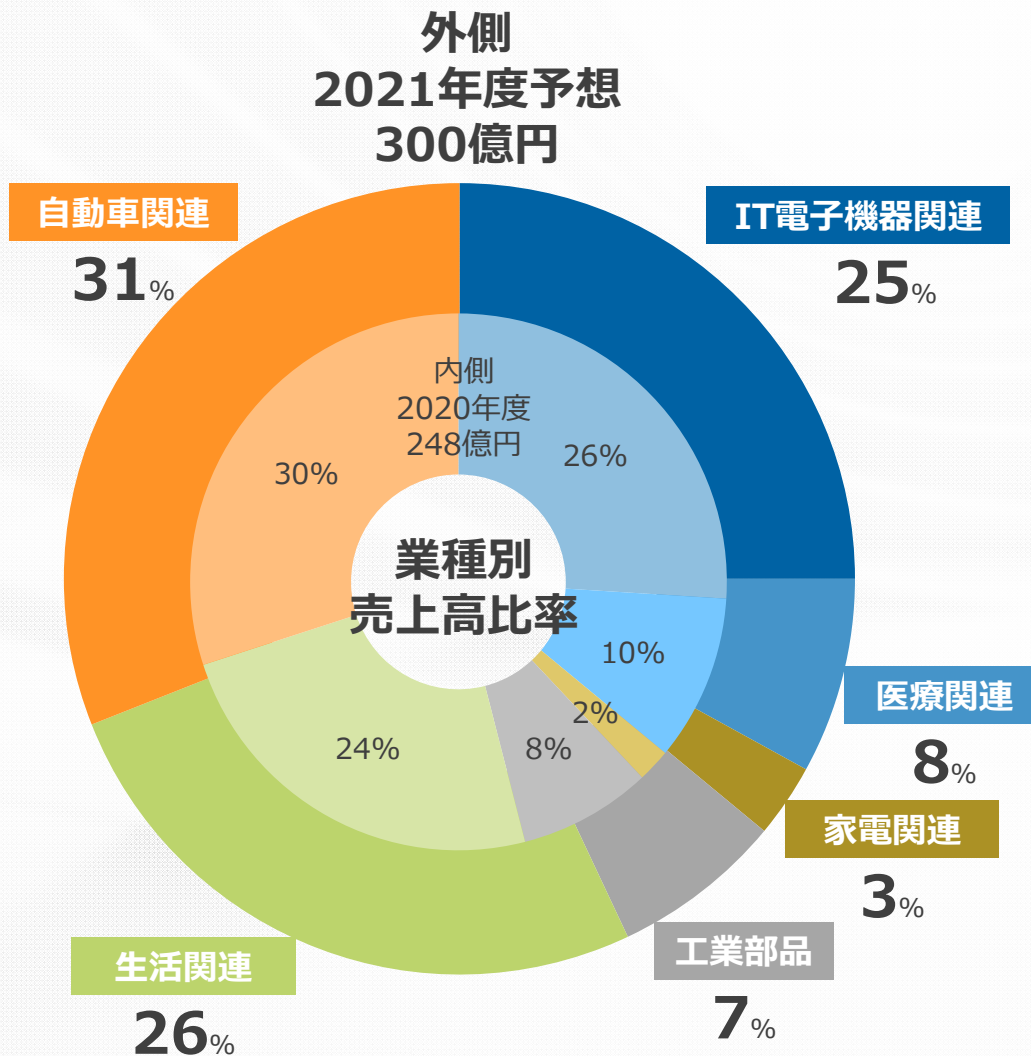
ダイカストマシン (単位:百万円)	2020年度 実績	構成比	2021年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	5,383	18%	8,600	28%	+3,217	+59.8%
(内、海外)	(3,779)	(70%)	(6,200)	(72%)	+2,421	+64.1%
売上高	5,264	21%	7,100	24%	+1,836	+34.9%
(内、海外)	(3,518)	(67%)	(5,100)	(72%)	+1,582	+45.0%
受注残高	1,597	16%	3,097	27%	+1,500	+93.9%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

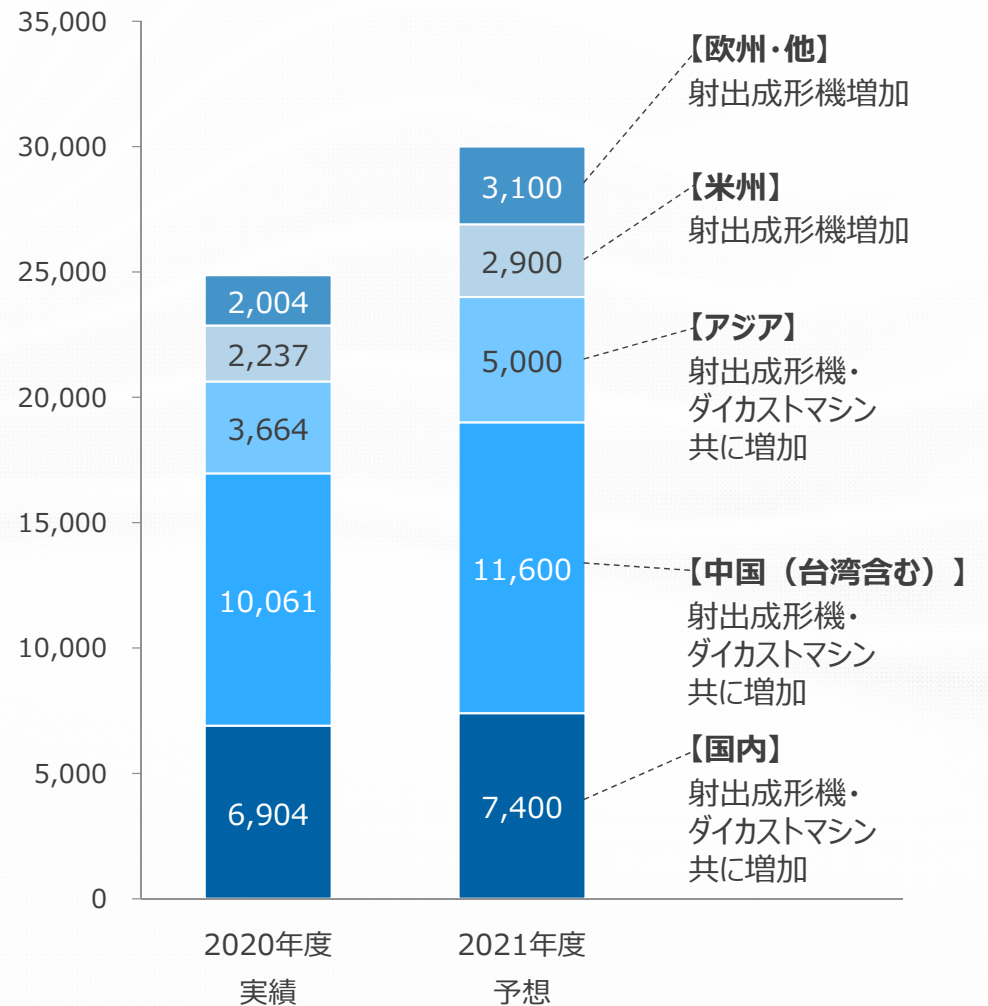
業種別・地域別 売上高予想

業種別では生活関連、自動車が増加、地域別では全地域で増加する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想 (単位:百万円)



今後3年間の経営数値目標

創業100年（2025年）を見据えた3ヶ年経営数値目標

2023年度

売上高
350億円

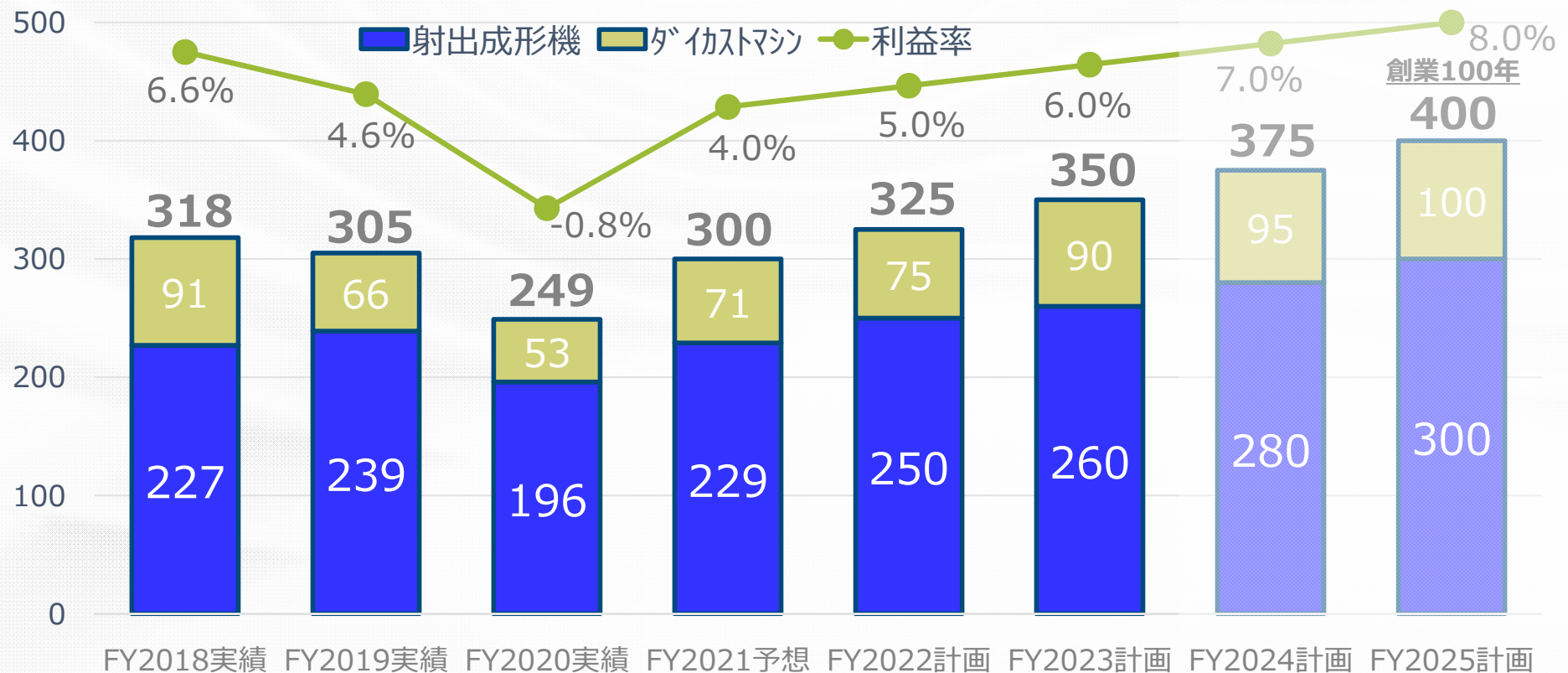
営業利益率
6.0%

ROE
8.0%

TOYO Great Global Plan
2020
(第Ⅱ期中計)

TOYO GO CHALLENGE
2023
(第Ⅲ期中計)

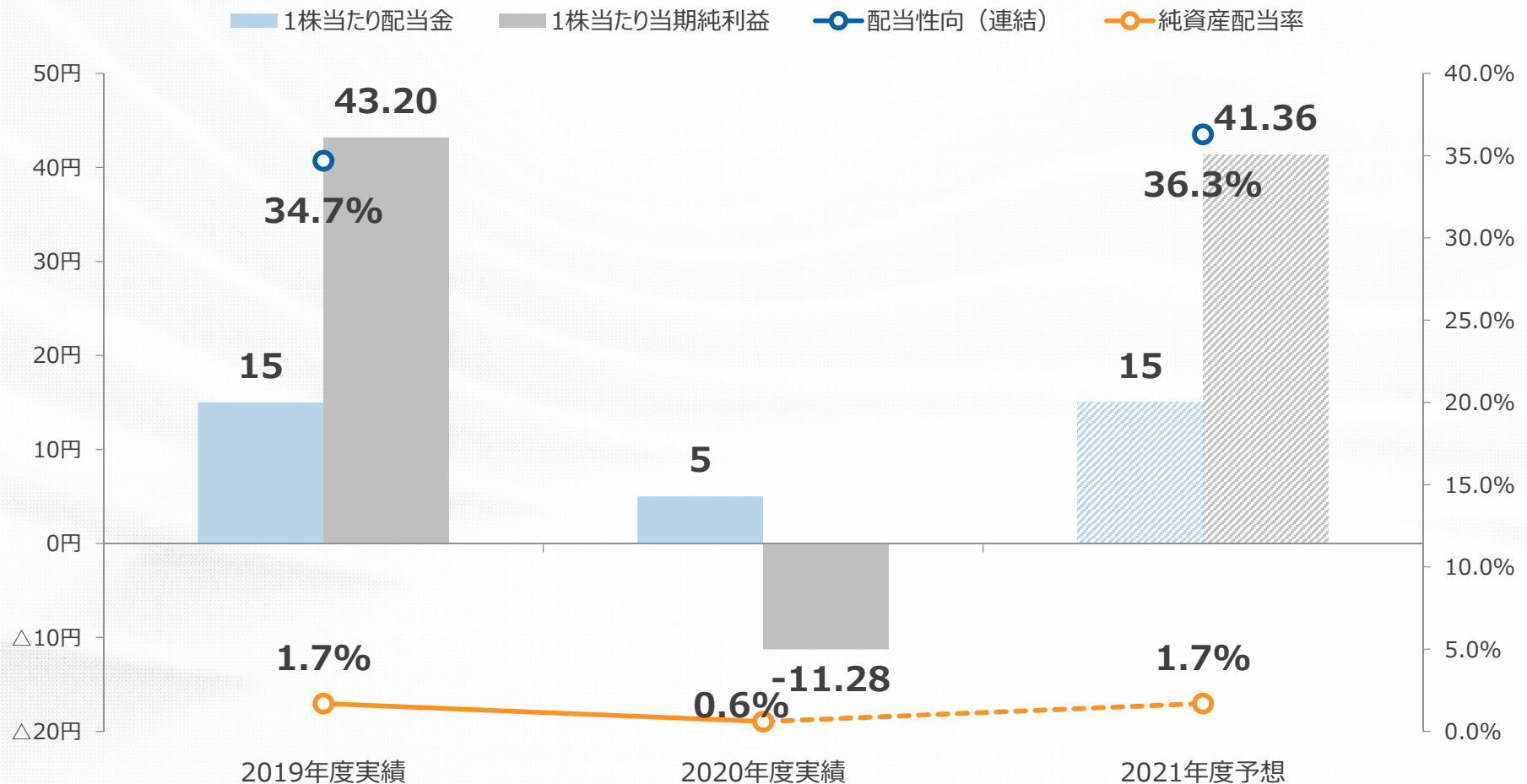
第Ⅳ期中計



株主還元について

2021年度中間は、1株につき7円50銭の配当を実施
2021年度期末は、1株につき7円50銭の配当を予定

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



トピックス

トピックス①- 1

植物由来樹脂・リサイクル材に適した各種アプリケーション

環境配慮型樹脂の成形における課題

- ①樹脂材料管理(熔融粘度、乾燥)
- ②熱劣化(乾燥、焼け、変色)
- ③可塑化安定性(発熱、均質熔融、射出量)
- ④ガス起因による成形不や金型汚染



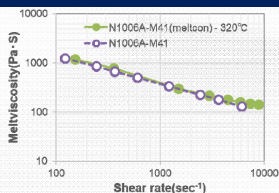
バージン材料



リサイクル材料

熔融樹脂粘度管理

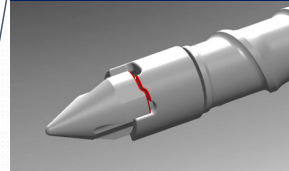
meltcon®



- リサイクル材など物性の変化を伴う樹脂粘度を成形機で管理し、一定の粘度値に自動調整することで成形品質の安定化に寄与。

射出量の安定化

SRC-Ⅲ計量



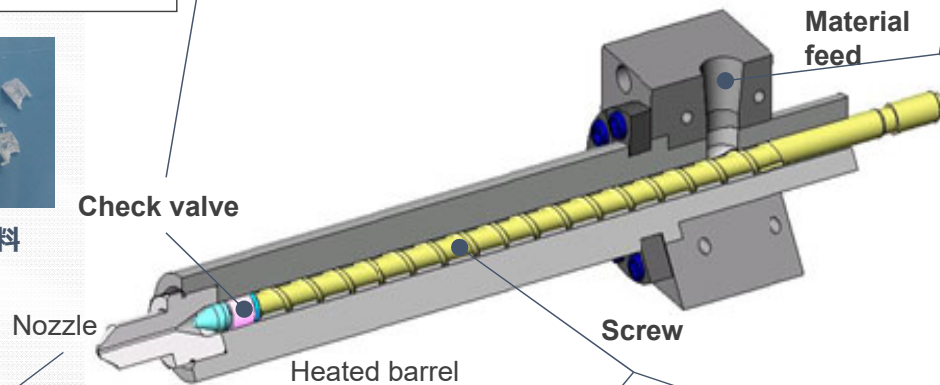
- リサイクル材使用時の可塑化の不安定性を解消するため、熔融樹脂密度の安定化と、チェックリングの閉鎖挙動を制御する独自の計量方式。

真空ガス脱気可塑化システム

SAG+α II



- 植物由来材料などの予備乾燥ができない、もしくは乾燥しても水分を十分に除去できない場合に最適。
- 樹脂の乾燥時間を削減し、省エネルギー化に貢献。
- 可塑化中に発生するガスを抑制し、金型の汚染を低減。



樹脂の酸化劣化防止システム

N2Seal



- 酸化劣化の影響を受けやすい植物由来樹脂に対し、材料の焼けや変色を防止。
- 窒素ガス供給はPSA方式を採用し、装置は成形機内へビルトイン可能。
- 動作および装置の状態監視は全て成形機で管理。

低せん断スクリュ

SAGスクリュ



- 熱の影響を受けやすい植物由来樹脂に対し、可塑化中のせん断発熱を抑え、物性低下をはじめ、変色や焼けを抑制。
- 可塑化安定性向上。

高混練スクリュ

MXTスクリュ



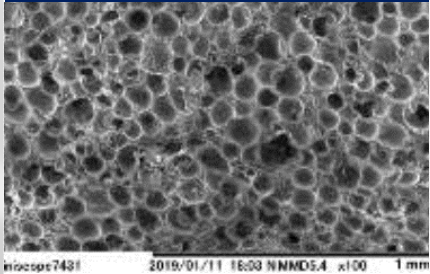
- さまざまなリサイクル材の熔融状態を均質化し、成形品質の安定化に寄与。
- 従来の混練型スクリュに比べ可塑化中の発熱が低減。

トピックス①-2

環境負荷低減に寄与する成形加工技術

環境負荷の少ない発泡成形技術

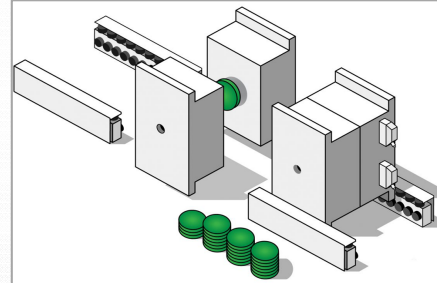
液状泡成形技術 L-Foam



- 水やアルコールを発泡剤とし、リサイクルが可能な発泡成形技術。
- 従来の発泡成形に対して、投資コストやランニングコストを大幅に削減。
- 成形品の軽量化をはじめ、樹脂の使用量低減による成形品のコスト削減。
- 既納機の改造による対応が可能。
- 小型機から大型機まで対応可能。

成形機1台で2台分の成形を可能とする複合成形技術

複合成形技術 Multi-Mold SYSTEM



- 1台の成形機で2つの金型を交互に成形し、生産効率を最大2倍にまで向上可能。
- 専用機を必要とせず、汎用の射出成形機を用いるため、成形の自由度が高く、大型機にも適用可能。
- 射出成形機でシステムの一括制御が可能。また、異なる二つの金型を用いる場合も、自動で成形条件を切り替え可能。
- 型内組立を組み合わせた複合成形への対応も可能。

液体を加熱筒温度で気化
計量中に注入



液体供給装置



発泡剤
➢ 水、アルコール etc
沸点が100℃前後の液体

液体



①1次成形→取出し ②2次側インサート→型内組立



③2次成形 (オーバーモールド)

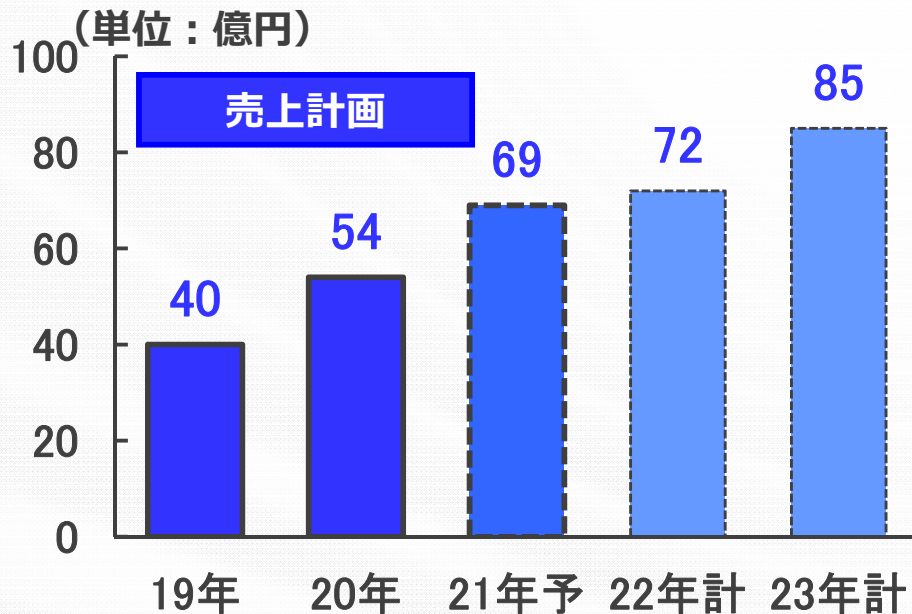


複合成形事例

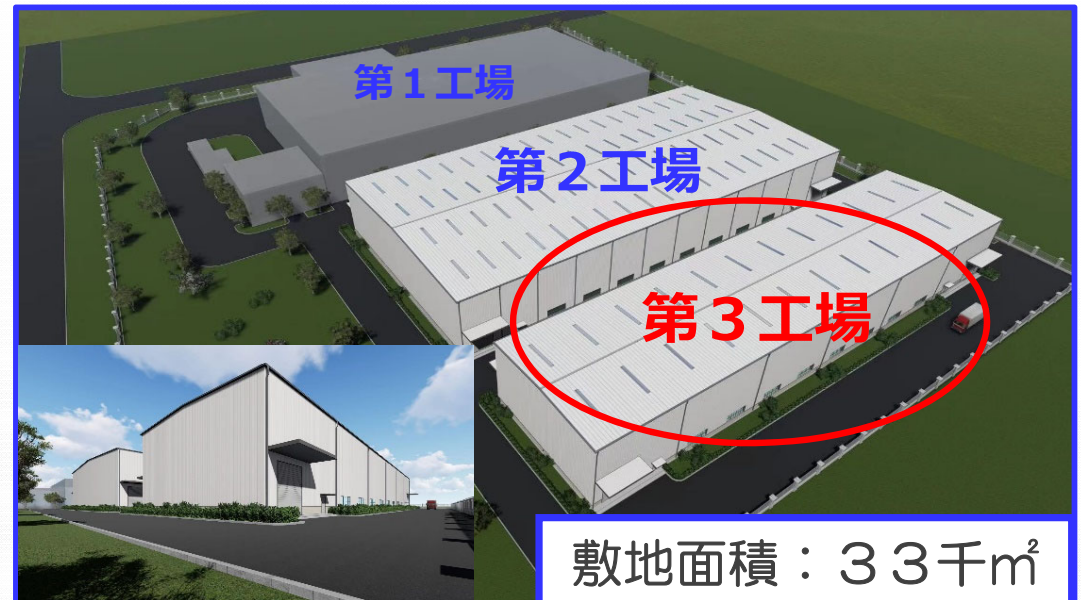
トピックス②

グローバル事業の強化

■ 中国工場の生産拡大



常熟現地法人 江蘇省常熟市



■ 中国事業の強化

- ・常熟CS小型シリーズの生産能力強化と売上の拡大
- ・販社と連携しIT電子機器関連をはじめとする中国市場への攻略で地産地消を拡大

第3工場増築計画

- ①投資金額：約4億円
- ②床面積：2,775㎡
- ③完成予定：2022年11月

Appendix

貸借対照表 (B/S)

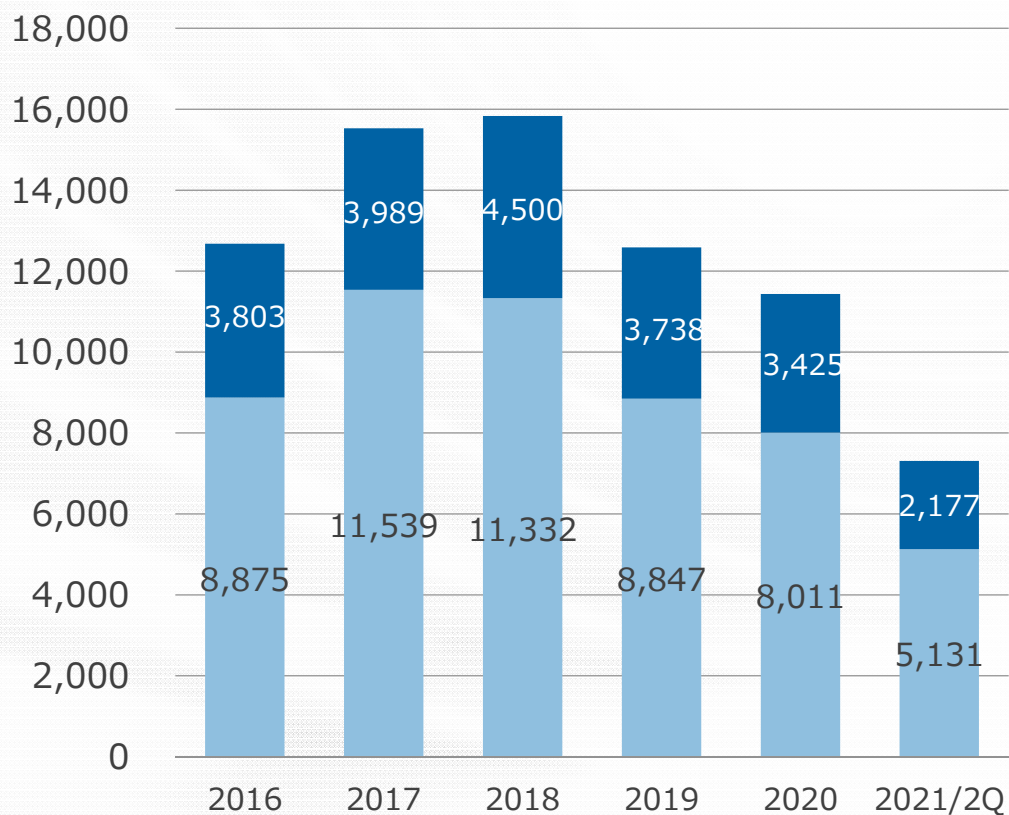
資産の部 (単位:百万円)	2020年度 実績	2021/2Q 実績	増減	コメント
流動資産	19,511	21,237	+1,726	棚卸資産が11億円増加したことや受取手形及び売掛金が6億円増加したこと等により、流動資産は17億円増加。
現金及び預金	7,183	7,165	△18	
受取手形及び売掛金	5,790	6,400	+610	
棚卸資産	5,342	6,453	+1,111	
固定資産	9,061	8,702	△359	減価償却が進み、固定資産は3億円減少。
有形固定資産	6,893	6,721	△172	
無形固定資産	602	547	△55	
投資その他資産	1,566	1,432	△134	
資産合計	28,573	29,940	+1,367	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	2020年度 実績	2021/2Q 実績	増減	コメント
負債合計	10,414	11,147	+733	借入金の有利子負債は2億円減少したものの、買掛金等の仕入債務が9億円増加したこと等により、負債合計は7億円増加。
支払手形及び買掛金	4,686	5,607	+921	
有利子負債残高	960	760	△200	
純資産合計	18,158	18,792	+634	親会社株主に帰属する四半期純利益の利益剰余金が増加したことにより、6億円増加。自己資本比率は前期62.6%から61.8%。
負債純資産合計	28,573	29,940	+1,367	

事業環境の概要

業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

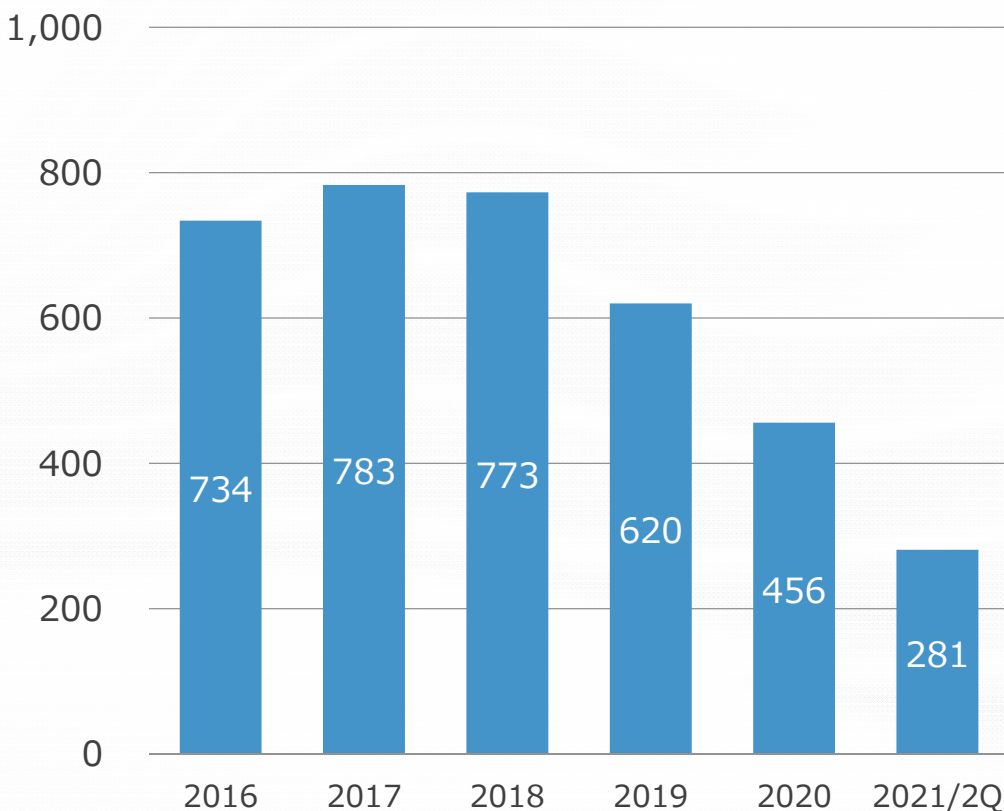
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customers' Value Up

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室

TEL. (078) 942-2345 (代表)

FAX. (078) 943-7275

URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>